

## <アイデア>

### 【ねらい】

既習表現（主張する・理由を述べるなど）を活用・発揮して、異なる主張をもつグループ内で相手を説得して、一つの結論に達するという日常生活でも起こりうる場面を経験させる。

# 合意形成を図る

例えばこんなときに使ってみてはどうでしょう。

相手意識をもった活動  
に取り組ませたい。

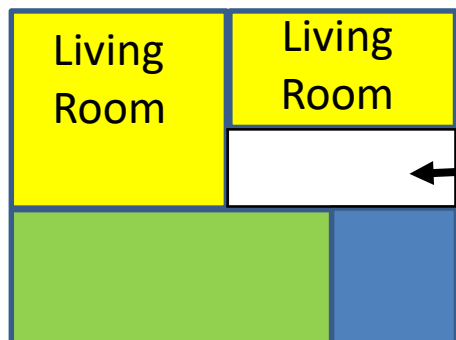
教科書に載っているディス  
カッションの例題は、生徒  
の日常生活とかけ離れて  
いて、現実味がないので  
はないか。



生徒への提示

使用する教材は  
「平成29年度 英語教育推進リーダー  
中央研修 高校」Speaking 1の教材で  
紹介があったものです。

あなたたち3人組は、秋田  
市内の大学に進学します。  
そこでルームシェアを計画  
中です。どのアパートと契  
約するかをグループ内で話  
し合って決めてください。



- A**
- ・35,000 円
  - ・25 m<sup>2</sup>
  - ・築10年
  - ・バス停まで10分徒歩  
学校までバス15分  
7～19時まで1時間1本運行
  - ・Wifiあり
  - ・2階
  - ・隣はショッピングモール

Kitchen  
dining

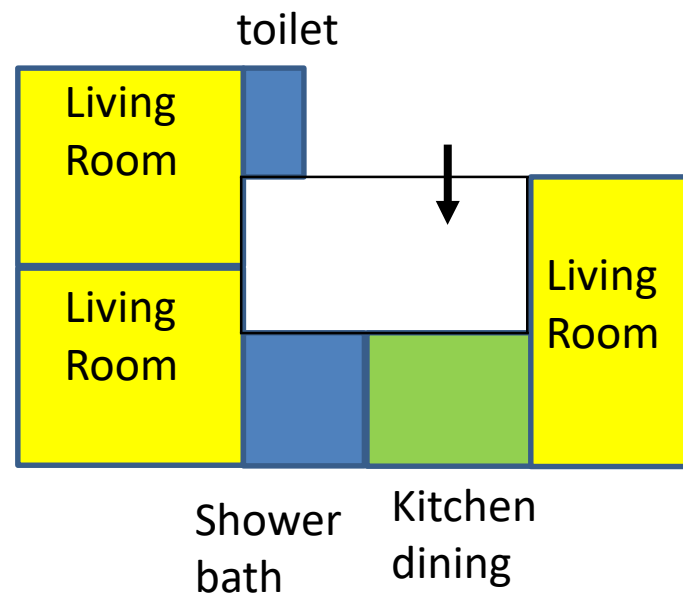
Shower  
toilet

## Akita Estate

「平成29年度 英語教育推進リーダー中央研修 高校」より

※ 見取り図中の矢印は入り口を指す。

- C**
- ・45,000 円
  - ・新築
  - ・学校までバス20分 一日7, 12, 16時のみの運行
  - ・Wifiなし
  - ・50m<sup>2</sup>
  - ・周囲田んぼ 融雪機能あり
  - ・1階 警備システム万全



toilet

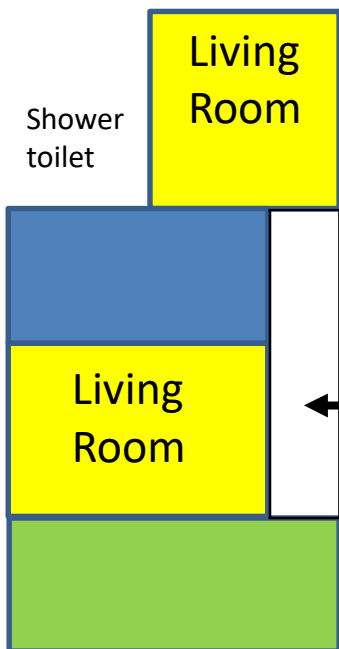
Living  
Room

Living  
Room

Living  
Room

Shower  
bath

Kitchen  
dining



Shower  
toilet

Living  
Room

Living  
Room

Kitchen  
Dining

- B**
- ・45,000 円
  - ・19 m<sup>2</sup>
  - ・新築
  - ・学校まで徒歩10分
  - ・Wifi  
ケーブルテレビ  
あり
  - ・2階
  - ・住宅街



今回は、3人の意見をすべて異なるものにしたいで、こちらから選ぶアパートを指定します。

3人がアパートを選ぶポイントは次の3点のポイント。各生徒が自らが選んだ下のポイントを使って自分の一押し物件を見付けます。

学校に近い

部屋が多い

家賃が安い

他の条件は自由に使ってもよい。



生徒へ提示を行います。

「自分一押しのアパートが選ばれるように、自分の一押しアパートの長所や短所を考えましょう。短所には対策も考えましょう。」

**1 まず生徒自身が各自で考える時間を確保しましょう。**

その物件のおすすめポイントはどこなのか。

また、どのアパートにも弱点があります。そこをどのように補強するかも考えるように指示してください。

知らない表現などはヒントを出しながら解決していきましょう。

細かい原稿は奨励しないでください。キーワードくらいのメモを作ってもよいでしょう。

**2 グループになって話し合っ、ひとつのアパートに決めてください。**

結論が出たら、先生が生徒の話し合い状況を確認します。生徒は先生の前で発表します。その際に先生は、最終的に選ばれなかったアパートを選んでいた人を中心に、あなたの一押しアパートを断念した理由を聞きます。選ばれたアパートを選んでいた人には、決め手になった事項を聞きます。

# 受講者の声

- ・物件を選ばせる条件が指定されているので、より説得力が必要になるのでいいと思う。
- ・違う物件を選んだグループとのディスカッションがあれば、質問するチャンスももっと増える。
- ・自分の意見や考えをもち、伝えるということが自然と必要になる言語活動。
- ・合意形成は必要なスキルだと思う。いつか試したい。レベルを自由に設定できそう。中学生にも応用できるかもしれない。
- ・「理由をつけて」というのが、論理的考えの一つとして有効だと考える。
- ・比較級や助動詞などを自然に使ってみようとするのではないか。生徒の中にどれだけ言語材料が蓄積されているかによる。

# 受講者の声

- ・実際にありうる場面であり，必要感のある活動だ。様々な資質・能力が求められる。生徒に導入するとしたら，何を与えるのかで活動への興味が変わりそう。
- ・見取り図があることで，語彙が少なくとも対応できそう。
- ・Slow learnersへの配慮として，例を示したほうがいい。  
語彙力が不十分な場合，どうなるのか。SVがそろっていないくとも認めるのか。  
どのあたりまでルールを変えていくのかを考えなくてはならない。
- ・地図があると分かりやすい。
- ・グループで一つに物件を決めるためのディスカッションであれば，極端に条件が違う物件があると話しやすい。
- ・3人でフラットを共有するのはあまり現実味がない。  
現実に近いところや都会に設定するほうがいいのではないか。
- ・他者の意見を聞き，個々に決定するという設定でもよいのではないか。

# このアイディアのポイント

- 1 正解はないので、生徒の発想は自由である。
- 2 相手を説得することが求められるので、自分の意見に理由をもつ習慣ができる。
- 3 「親元を離れる」というある程度、実感がある設定である。
- 4 使う文法事項や表現がある程度予想されるので、その習熟にも役立つ。

(ただし、こちらから使う言語材料を指定することは避けたい。)